

2005年10月26日

関東学院三春台小学校のみなさんへ

ムラホ！みなさんお元気ですか。私がルワンダの首都（しゅと）キガリに到着（とうちやく）してからもうすぐ三週間（さんしゅうかん）になります。日本はもう秋ですね。ルワンダは二週間くらい前から雨期（うき）とって、雨の多い季節（きせつ）になりました。

## ルワンダの季節

毎日（まいにち）夕方か夜にどしゃぶりの雨がふっています。日本では春夏秋冬と四季（しき）がありますが、ルワンダには雨がよくふる雨期とほとんどふらない乾期（かんき）のちがいがあだけです。四月から六月の三ヶ月間くらいが大雨期（だいうき）で、たくさん雨がふる季節（きせつ）です。十月から十二月頃までにも雨がふりますが、大雨期ほどたくさんふらないので小雨期（しょううき）と言います。残りの半年くらいはあめがほとんどふらず、乾期（かんき）と言います。

## キガリの気候

みなさんは、ルワンダはきつととても暑いところなんだと思っているかもしれませんね。たしかに赤道直下（せきどうちょっか）の近くにあり、太陽（たいよう）の日ざしはとても強いです。でも日本のように気温（きおん）が30度をこえることはまずありません。一年を通してあたたかく、年の平均気温（へいきんきおん）はたしか16度くらいだったと思います。なぜ赤道直下の近くなのにもものすごく暑くないかという、それは、キガリが標高（ひょうこう）の高いところにあるからです。キガリの標高は1400メートルから1600メートルくらいです。日本でも、高い山に登ると夏でも涼しいでしょう。キガリは、夜になると少し冷えるので、昼は半袖（はんそで）でよくても、夜には長袖（ながそで）が必要（ひつよう）になります。

## キガリの町

キガリの町の写真（しゃしん）を送りますね。ルワンダは「千の丘の国」と呼ばれるように、大きな丘がたくさんある国です。キガリもいくつかの大きな丘からできていて、とても坂の多い町です。人口（じんこう）は約80万人です。キガリは、政府（せいふ）の建物（たてもの）がある区域（くいき）、銀行（ぎんこう）や商店（しょうてん）などがある区域、お金持ちが住んでいる区域、まずしい人たちが住んでいる区域と、場所（ばしょ）によってずいぶんと様子がちがいます。二年くらい前からずいぶんと背の高いビルも増えてきました。キガリで一番高いビルは、十階建ての銀行です。お金もちは大きくてりっぱな家に住んでいます、大多数（だいたすう）のまずしい人たちはとても小さな家に住んでいます。

キガリに住んでいる人たちが着ている服は、皆さんが着ているのと同じような洋服（ようふく）です。ただ新しい服は値段（ねだん）が高いため、外国（がいこく）から輸入（ゆにゅう）された古着（ふるぎ）を着ている人が多いです。

## キガリの交通手段（こうつうしゅだん）

ルワンダには鉄道（てつどう）がありません。キガリの町には五種類（しゅるい）の交通手段があります。

### 1) 乗合（のりあい）バス

バスと言っても、日本だと10人乗りくらいの自動車（じどうしゃ）ですが、20人くらいのお客さんがぎゅうぎゅうづめになって乗っています。日本で使われなくなった中古車（ちゅうこしゃ）を輸入（ゆにゆう）し、改造（かいぞう）したものです。私も今は毎日この乗合バスで移動（いどう）していますが、しばらくすると道の悪い田舎（いなか）にも出かけなければならぬため、ランドクルーザーというジープを買う予定（よてい）です。

### 2) オートバイタクシー

オートバイの後ろに乗せてもらって移動（いどう）します。運転手（うんてんしゅ）さんがあまり上手（じょうず）ではないので、ちょっとこわいです。

### 3) 自転車（じてんしゃ）タクシー

あまり遠くないところであれば、自転車（じてんしゃ）の荷台（にだい）に乗って移動（いどう）します。

### 4) 普通（ふつう）のタクシー

運転手（うんてんしゅ）さんに目的地（もくてきち）を言えばどこにでも連れていってくれる普通のタクシーです。でも乗合（のりあい）バスなどくらべるととても料金（りょうきん）が高いです。たとえば、乗合バスだと150フラン（30円くらい）で行けるところでも、普通のタクシーだと2500フラン（500円くらい）かかってしまいます。

### 5) 自家用車（じかようしゃ）

自家用車を持っている人たちはまだごく一部（いちぶ）の人たちだけです。ルワンダで走っている80パーセントくらいの車が日本製（にほんせい）だと思います。

## 平和（へいわ）のために働く REACH

私はキガリに到着（とうちゃく）してから、REACH（リーチ）とあって、ルワンダ人のフィルバート・カリサ牧師（ぼくし）がつくった団体（だんたい）で仕事を始めました。ルワンダではつい五年くらい前まで国の中で戦争（せんそう）がありました。ですから、ルワンダの人々の心の中にはまだたくさんの憎しみが残っています。REACHは、戦争がまた起きないように、ルワンダの人たちみんながなかなかお手伝い（てんい）をしているのです。どんなお手伝い（てんい）をしているかは、次のお手紙（てがみ）で説明（せつめい）したいと思います。

## お祈りしてもらいたいこと

### 1) 体がルワンダの気候（きこう）になれるように

ルワンダで元気に仕事をしていくためには、まず体がこの国の気候（きこう）になれることが大切です。キガリのように標高（ひょうこう）の高いところは、空気がうすいので、なれるまでは普通（ふつう）に生活（せいかつ）をしているだけでも疲れてしま

います。夜もあんまりぐっすりねむれません。それと、私が住んでいたイギリスのように、あまり太陽の光が強くないところに体がなれてしまうと、ルワンダの強い日ざしになれるまでに少し時間がかかります。もうだいぶ良くなりましたが、ルワンダに来てしばらくは太陽疹(たいようしん)と言って、強い日差しが原因(げんいん)で、手や腕にたくさん湿疹(しっしん)ができました。どうか少しずつ体がなじんでいくように、みなさんお祈りしてください。

2) 病気(びょうき)や事故(じこ)からまもられるように

ルワンダには日本に無いこわい病気(びょうき)があります。特に、マラリアとって、高い熱(ねつ)がでたり、場合(ばあい)によっては死んでしまうこともあるこわい病気があります。マラリアには、蚊(か)にさされるとかかります。日本の蚊(か)とちがって、ルワンダの蚊(か)は、顕微鏡(けんびきょう)でないと見えないくらい小さなマラリア病原虫(びょうげんちゅう)を持っているからです。病気や交通事故(こうつうじこ)など全ての危険(きけん)から神様が守ってくださいるようにお祈りしてください。

3) 日本からルワンダに来る家族(かぞく)のために

私の家族は日本の鹿児島市(かごしまし)にいます。妻(つま)の恵(めぐみ)、長女の萌(もえ)中学2年生、長男の仁(じん)小学6年生、次男の共喜(ともき)小学3年生の四人です。12月頃にはルワンダに来れるように準備(じゅんび)をしています。家族が準備を終えて、無事(ぶじ)にルワンダに来れるようにお祈りしてください。

それでは今日はこのへんで。私もみなさんのことを思い出してお祈りしますね。病気(びょうき)などしないように体に気をつけてすごしてください。さようなら。

佐々木和之

P.O.Box 3739  
Kigali  
RWANDA